

微生物プラチナアトラス 第2版

編著：岡 秀昭，著：佐々木 雅一

もはやグラビア写真集をも超越している 微生物検査アトラス

もはやアトラスといえない。2018年に発売され、5年ぶりに改訂された『微生物プラチナアトラス』だが、一言で説明すると世界一“美しい”写真集、いや、もはやアトラスを超越した写真集そのものといっても過言ではない。

本書の魅力は、著者の佐々木雅一先生の微生物に対する思いが、卓越した写真撮影技術により再現され、あたかもオンタイムのライブ配信で公開された映像を手にするような感覚で確認ができることである。まさに、感染症診療に活かすための情報が凝縮された1冊である。

また、『感染症プラチナマニュアル』の著者である岡秀昭先生が編著もされており、2つのプラチナがブレンドすることで感染症診療がより味わい深いものになることは間違いない。

いくつかポイントを挙げたい。

初版の継承と進化。初版で掲載されていた写真がさらに見やすくなり、写真が多く追加されている。初版をその

まま継承し、微生物の進化とともに追加情報を加えながら詳しく解説されている。

微生物の写真が大きく見やすくなった。写真は枚数も増え、グラム染色や培地の写真は検査室で直接見る感覚が大切に表現されている。特に、培地上のコロニーは、その表面状態もマクロ撮影されているところが美点である。各章はタイトル画像に綺麗なコロニーが掲載されていて、高級レストランのメニューを見ているような感じにさせられる。著者の人間性がコロニー写真を通じてうまく表現されているところに奥行きも感じてしまう。

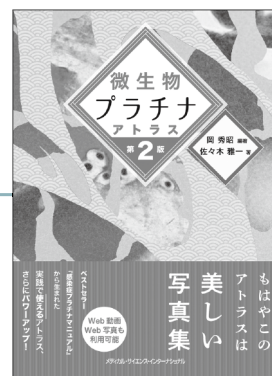
話題の微生物が取り上げられている。微生物の同定技術が高くなり、今までは分類していなかった細かい菌種についても取り上げられている。*Staphylococcus aureus* complexのうち *S. aureus* と *S. argenteus* といった金菌、銀菌の違いについても紹介されている。

写真撮影のコツまで教えてくれる。

佐々木先生のこだわりが詰まっている撮影する培地上のコロニーは本当に美しく我々を魅了するものが多い。その写真撮影の技術を惜しみなく公開しているところが、著者の人間性を大きく表現できている。

さて、今回の改訂に大きな期待を寄せて読み始めたが、またも魅了されてしまった。『微生物プラチナアトラス』は進化し続けているのである。是非、手にとって、パワーアップしたこの写真集を読み込んでほしい。そして、実践で使い、感染症で不安を抱えている患者さんにフィードバックしてみてほしい。患者さんがいち早く予後改善へ向かうことを期待できる1冊である。

山本 剛（大阪大学大学院医学系研究科 変革的感染制御システム開発学寄附講座、大阪大学医学部附属病院 感染制御部）



MEDSi
5,500円(本体5,000円+税10%)
B5変/256頁
ISBN978-4-8157-3085-7